

ベンジャミン・フリス ハンマークラヴィアを弾く!

BENJAMIN FRITH plays HAMMERKLAVIER
 “このピアノでハンマークラヴィアを弾きたい”
 ハンマークラヴィアを弾く為に選んだベヒシュタインD-2821
 その為に会場まで変えてベヒシュタイン・セントラムになった
 (当初は蒲田御園教会だった)
 ハンマークラヴィアとブリテンはそのまま、
 プログラムがこのピアノの性格を考えて変更!

2026年5月17日(日)

会場:ベヒシュタイン・セントラム 東京

【第1回 3B-BEEHIVE ランチタイム・コンサート】

12:30~13:15 (12:00開場)

バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト短調 BWV 1001

(G. レオンハルトによるピアノ編)

ベートーヴェン:6つのパガテル

ブリテン:12の変奏曲

【夕べのコンサート】

16:00開演 (15:30開場)

シューベルト:ドイツ舞曲 D.783

即興曲 OP.899-2

ブリテン:12の変奏曲



～休憩～

ベートーヴェン:ハンマークラヴィア



ベンジャミン・フリス BENJAMIN FRITH

伝説のピアニスト、ソロモンの流れを汲む英国ピアノ主義の継承者ベンジャミン・フリス。ウィーン古楽派のスペシャリストであり、現代屈指のベートーヴェン弾きとして名高い。ウィグモア・ホールでの定期公演や室内楽監督、グールド・トリオでの活動、王立ノーザン音楽大学での後進の指導など、その歩みは多岐にわたる。フィールドやメンデルスゾーンの名曲に加え、NHKで放映された「ディアベリ変奏曲」は彼の真骨頂を世に示した。ブゾーニ最高位、ルービンシュタイン優勝という実績を誇り、正統派の影が薄れゆく現代において、フリスの演奏には英国の伝統が色濃く息づいている。かつてハイデンやショパンらを魅了したロンドンの音楽的系譜を体現する彼のベートーヴェンを聴けば、音楽への真摯な姿勢が伝わってくる。その演奏に触れることは、まさに一つの豊かな「経験」である。

ランチタイム・コンサート

一般 ¥3,000、
 MCS会員・ベヒシュタインサロン会員 ¥2,525
 (当日+¥500)
 一般学生 ¥2,000
 MCS・ベヒシュタインサロン学生会員 ¥1,500
 (当日+¥500)
 ※公演後に紅茶と特製プリオッシュ
 (セルフサービスです)

夕べのコンサート

一般 ¥5,000、
 MCS会員・ベヒシュタインサロン会員 ¥4,500
 (当日+¥500)
 一般学生 ¥2,525、
 MCS・ベヒシュタインサロン学生会員 ¥1,500
 (当日+¥500)

主催(企画・制作):一般社団法人 MCS ヤング・アーティスト
 共催:株式会社ベヒシュタイン・ジャパン

購申し込み

MCS ヤング・アーティスト

メール: ticket@mcsyo.org, 080-3154-9880, 03-3473-2880

マイチケ: ランチタイム →

夕べのコンサート →



こちらでもお求めいただけます! キャビンリカー 新橋店
 東京新橋区新橋2-16-1 TEL:03-6266-8851
 JR新橋高森口SL広場前、新橋ニュービル1F(現金のみ/当日でも前売りで購入可)
 営業時間:平日 10:00~19:00/土・日・祝 10:00~17:00

